

総合評価の評価方法の 違いによる効果検証

1. 加算方式の試行結果(除算方式との比較)

平成19年度 加算方式の試行結果

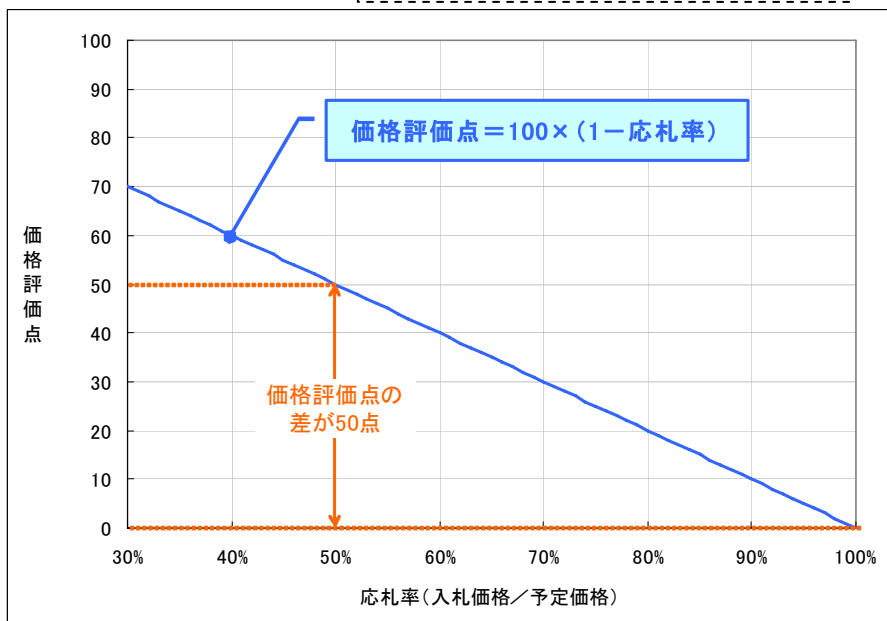
順位	地整名	工事名	工事種別	タイプ	加算比率 (価格 :技術)	施工 体制 確認型	予定価格 (税抜: 千円)	落札価格 (税抜: 千円)	落札率	落札者名	入札参加者数	落札者		除算方式(シミュレーション)		加算方式での 当該落札者の 順位 (評価値)	
												予定価 格内	価格	技術点	加算点		施工体 制確認 型
1	四国	平成19年度 東孕ランプ2号橋上部工事	PC	簡易型	1:0.5		184,510	145,000	78.6%	川田建設(株)	12	12	3位	1位	30	○	1位
2	北陸	一般国道289号4号橋梁仮橋工事	一般土木	簡易型	1:1	○	188,550	165,000	87.5%	(株)中元組	3	1	1位	1位	50	○	1位
3	北陸	豊津築堤護岸及び樋門新設工事	一般土木	簡易型	1:1	○	97,100	85,000	87.5%	㈱北條組	5	4	2位	1位	50	○	1位
4	中部	平成19年度 天竜川水系中田切第4砂防堰堤工事	一般土木	簡易型	1:1		562,510	488,000	86.8%	吉川建設(株)	4	3	2位	1位	30	○	2位
5	九州	佐賀497号白石橋下部工(A2)他一連工事	一般土木	簡易型	1:1		94,160	88,800	94.3%	岩崎建設(株)	5	3	1位	1位	30	○	1位
6	九州	熊本3号宮浦3号橋上部工(P4~A2)工事	鋼橋上部	簡易型	1:1	○	141,910	112,500	79.3%	清本鉄工(株)	4	3	1位	1位	40	○	1位
7	九州	茅島地区地盤改良工事	グラウト	簡易型	1:1		56,160	45,900	81.7%	ライト工業(株)	5	5	3位	1位	30	○	2位
8	東北	雄物川上流大曲地区環境整備工事	一般土木	簡易型	1:2		16,000	13,450	84.1%	(株)協和土建	5	2	1位	1位	20	○	1位
9	関東	圏央道川田谷高架橋1下部工事	一般土木	標準型	1:1	○	390,540	375,000	96.0%	(株)新井組	4	4	3位	1位	60	○	1位
10	中部	平成19年度 1号静清浅機山トンネル工事	一般土木	標準型	1:1		1,567,410	1,436,000	91.6%	(株)間組	5	5	5位	1位	50	○	2位
11	中国	広島西部山系上原2号砂防堰堤工事	一般土木	標準型	1:1	○	425,750	375,000	88.1%	肥海建設(株)	3	2	1位	1位	60	○	1位
12	四国	平成19—21年度 つづら川第8橋下部工事	一般土木	標準型	1:1	○	696,010	558,000	80.2%	西松建設(株)	18	18	4位	1位	30	○	1位
13	四国	平成19—21年度 新仁淀川橋上部工事	鋼橋上部	標準型	1:1	○	1,396,780	1,150,000	82.3%	JSTブリッジ・名村造船所 特定建設工事JV	11	10	4位	1位	30	○	1位
14	中国	松江道路上竹矢高架橋外PC上部工事	PC	標準型	1:1	○	377,810	300,000	79.4%	(株)ピーエス三菱	5	5	2位	1位	60	○	1位
15	近畿	紀北東道路丁ノ町地区外改良工事	一般土木	標準型	1:2	○	549,520	530,000	96.4%	(株)ハンシン建設	4	4	3位	1位	40	○	3位
16	中国	松江道路中竹矢高架橋外上部工事	鋼橋上部	標準型	1:2	○	290,360	260,000	89.5%	(株)アルス製作所	2	2	1位	1位	60	○	1位
17	関東	付替県道14号橋上部工事	PC	標準型	1:2	○	650,810	538,000	82.7%	(株)富士ピー・エス	13	13	5位	2位	60	○	1位
18	東北	穀田地区道路改良工事	一般土木	標準型	1:3	○	255,160	225,800	88.5%	(株)佐藤工務店	9	5	4位	1位	45	○	3位
19	四国	平成19—21年度 西谷高架橋工事	一般土木	高度技術 提案型	1:1		982,540	980,000	99.7%	三井住友建設(株)	3	2	2位	1位	50		2位
20	九州	嘉瀬川ダム副ダム建設工事	一般土木	高度技術 提案型	1:1		1,570,830	1,380,000	87.9%	西松建設(株)	9	7	2位	1位	50		1位

2. 加算方式と除算方式の比較①

○ 除算方式は、加算方式と比べて、極端な低入札が、評価値に与える影響が高い。

加算方式

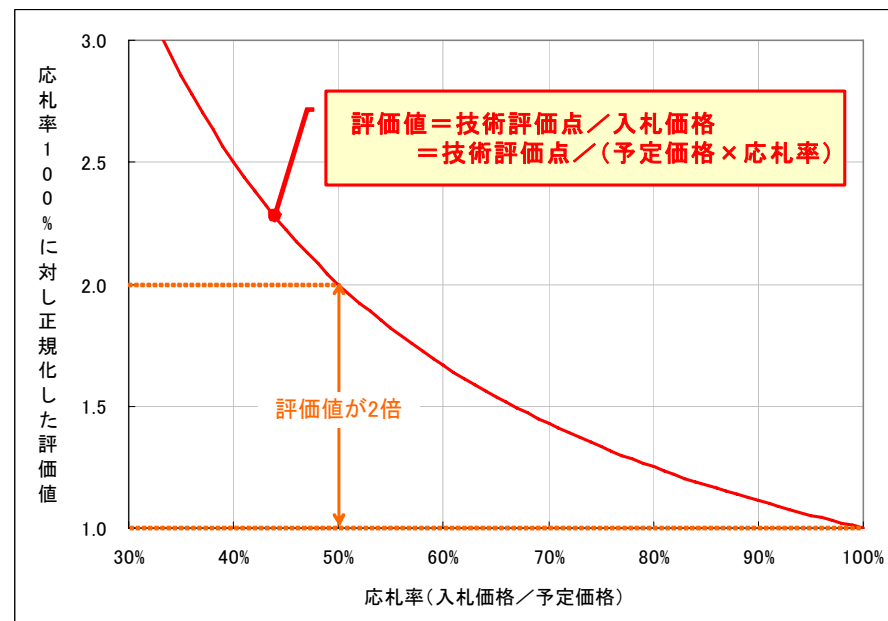
$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{価格評価点} + \text{技術評価点} \\ &= A \times (1 - \text{入札率}) + B \times \text{得点率} \\ \text{入札率} &= \frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}} \quad \text{得点率} = \frac{\text{得点}}{\text{加算点満点}} \end{aligned}$$



加算方式では、応札率50%の場合には、技術評価点を50点加点した場合と同等。
(※価格:技術=100点:100点の場合)

除算方式

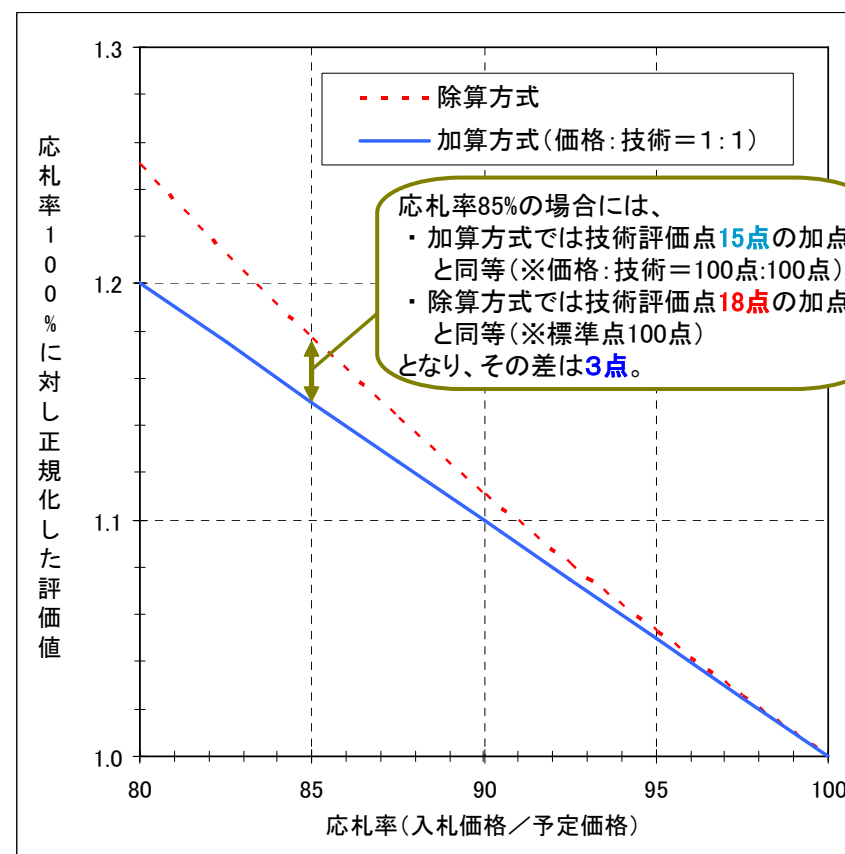
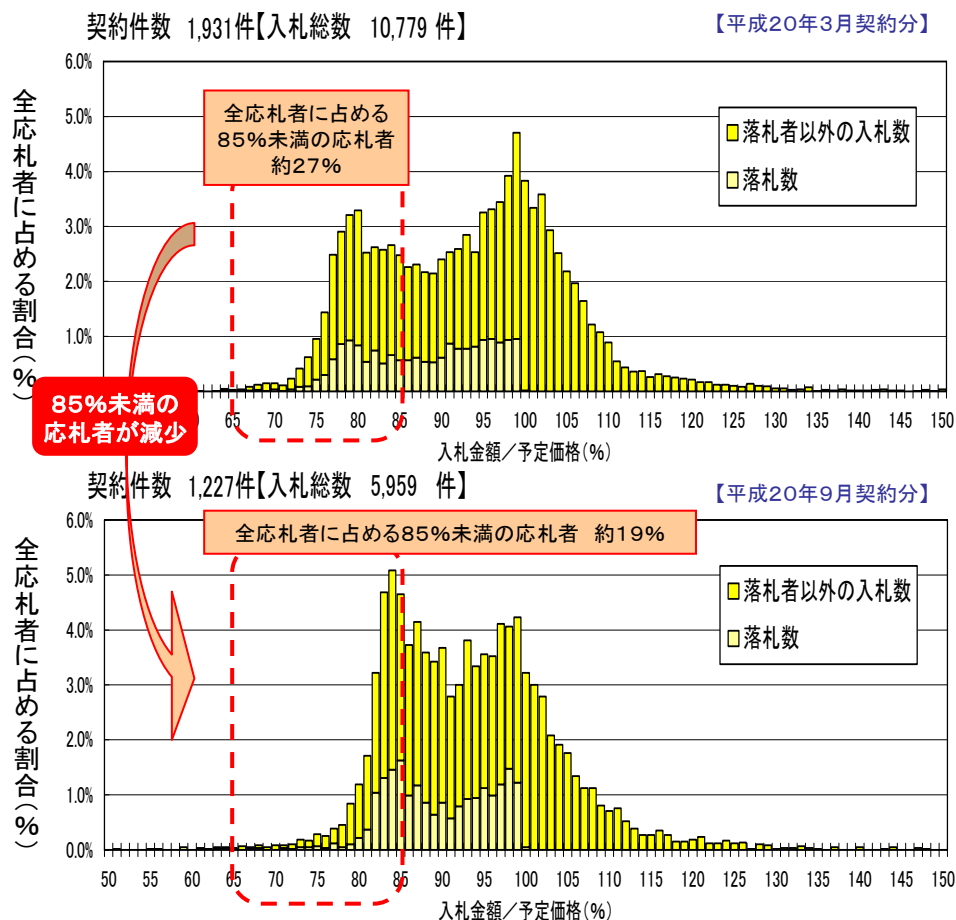
$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格}} = \frac{\text{標準点} + \text{加算点}}{\text{入札価格}} \\ &= \frac{100 + \text{加算点満点} \times \text{得点率}}{\text{予定価格} \times \text{入札率}} \end{aligned}$$



除算方式では、応札率50%の場合には、技術評価点を2倍に加点した場合と同等。

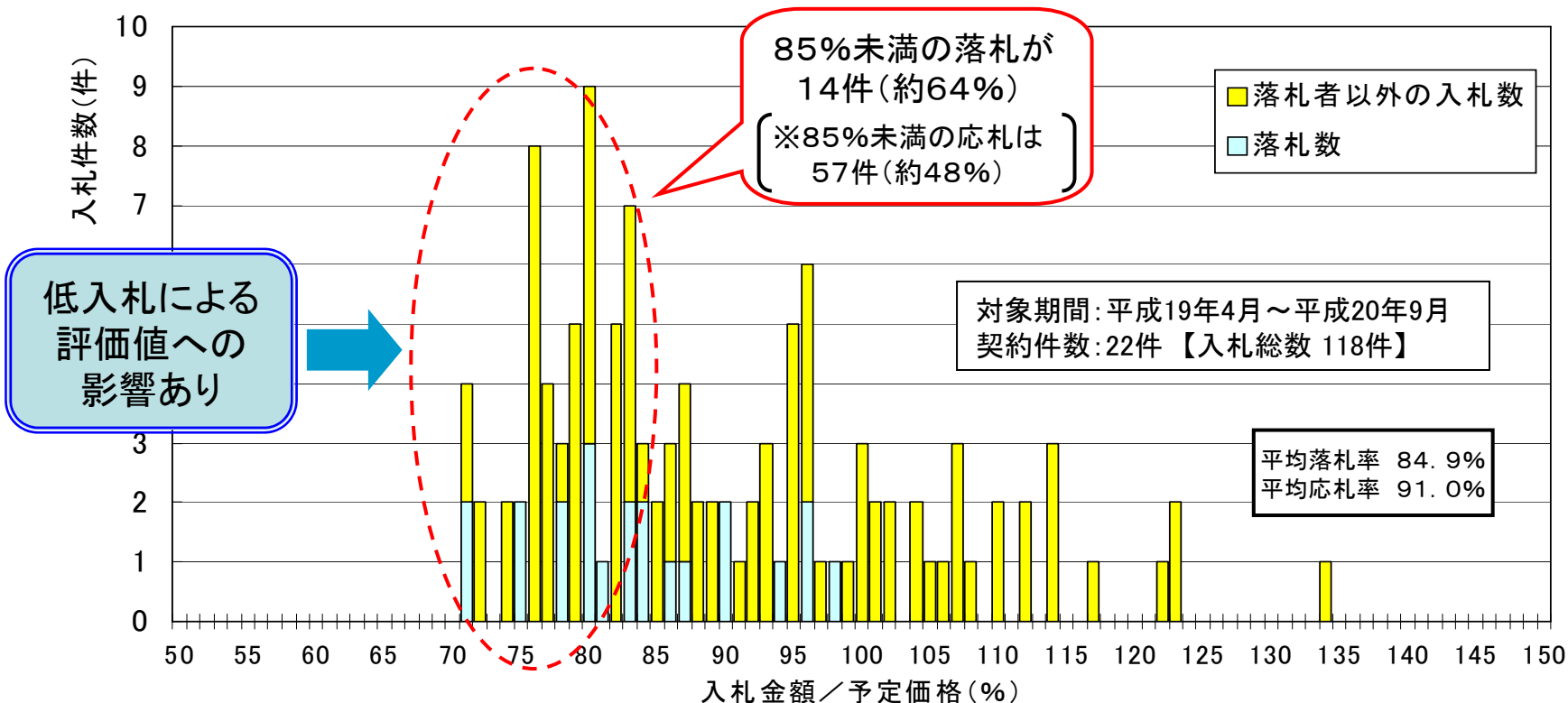
2. 加算方式と除算方式の比較②

- 施工体制確認型の導入により、実質、落札率が85%未満の応札行動は減少したことから、除算方式においては、極端な低入札が評価値に与える影響は排除されている。



3. 高度技術提案型における課題について

高度技術提案型の入札状況



※ 対象は8地方整備局及び北海道開発局、沖縄総合事務局発注工事

➤ 低入札が品質確保に与える影響を厳格にチェック
技術提案毎に、見積額と応札額の乖離をヒアリング等で厳格にチェック
する等の低入札防止対策を試行する。(平成20年度)